



阪急山田駅

画・高宮良子

すいた **今昔** 青少年施設「夢っながり未来館」がオープンした阪急山田駅。でもこの駅、元々は万博の臨時駅だったのでよ。

CONTENTS

すいた市民しんぶん対談	学校現場 崩壊 問題点だらけの「教育基本条例」(案)	2
WTCビル購入府庁舎移転	橋下さん、知事を辞める前に責任とって! 市民団体が住民監査請求	6
シリーズ その2 原発のウソを暴く	本当にコストが一番安いのか?	7
911事件から10年—パキスタン潜入ルポ	西谷文和 謎だらけのオサマ・ビンラディン殺害事件	8
「子育てするなら吹田」を後退させる	行政の維新プロジェクト	10
吹田市議会が「米軍普天間飛行場移設問題についての意見書」を採択	戦火に散ったアスリート② タイガース 森 国五郎	14
吹田溺愛主義⑩ 人気大関・松ノ音善蔵が行く	いわみせいじのヨコシマ日記⑳	15

この新聞は定期的に発行し、吹田市民のみなさまにお届けしています。

阪 急山田駅が開業したのは1973年11月23日。実は山田駅には「先輩」がいて、その名は「万博西口駅」。大阪万博開催直前の69年11月10日から70年9月14日まで、現在の位置から800m程北側、中央環状線上に臨時駅として開業したのだ。

70年3月〜9月に開催された大阪万博は、総入場者数6421万人！当時の日本人の3人に2人は万博会場を訪れた計算だ。

当然、膨大な人々を輸送する交通網を整備しなければならぬ。臨時線を引き込み、万博大動脈となったのが北大阪鉄道。千里中央から万博会場まで、現在の中国自動車道の敷地を「万博中央口駅」まで輸送していた。その「地下鉄御堂筋線・臨時線」の運行を、現在の山田駅付近から撮影したのが、裏表紙の写真だ。

ちなみに、当時は阪急京都線の南茨木駅も臨時駅となっていた。万博が北大阪地域における交通網整備の起爆剤となったのだ。